エイシング プログラミング コンテスト 2020:C のフランクな 解説

終に鮭

2020年7月11日

TL;DR

- 単純に for と if でカウントするだけ
- 普通に全探索するともちろん TLE だが、ちょっと枝刈りすれば耐える

略解

適当に全探索で組んでみよう.

```
1 #include <stdio.h>
 3 int main() {
      int N;
 5
     scanf("%d", &N);
     for (int n = 1; n \le N; n++) {
 7
        int cnt = 0;
        for (int i = 1; i <= 100; i++) {
          for (int j = 1; j \le 100; j++) {
9
            for (int k = 1; k \le 100; k++) {
              if (i * i + j * j + k * k + i * j + j * k + j * i == n) {
11
12
                cnt++;
              }
13
14
            }
          }
15
16
17
        printf("%d\n", cnt);
18
19
      return 0;
20 }
```

これでは当然 TLE してしまう. ではどうすればいいか?

まず 8,9 行目のあとに $i^2 > n$, $i^2 + j^2 + ij > n$ ならループを抜けるように付け加えてみよう (ループが重たいので真面目に i(i+2)+3, i(i+j+1)+j(j+1)+1 で判定したほうが早くなるかも).

しかしこれでもまだ TLE. そこで $i \leq j \leq k$ になるようにすれば組み合わせはかなり減る. 具体的には (枝刈りしていない状態で) 100^3 から 100 に減る. つまり約 1/6 倍まで減らせるぞ! このとき cnt のインクリメントに注意!並べ替えを考慮していないので, $\#\{i,j,k\}=1$ なら 1, $\#\{i,j,k\}=2$ なら 3, $\#\{i,j,k\}=3$ なら 6 だけ増やすように場合分けしよう. $i \leq j \leq k$ から, $\#\{i,j,k\}=2 \Longrightarrow i < k$ であることをうまく利用しよう.

追記

早い提出結果を眺めてみると、for 文の条件に i * (i + j + k) + j * (j + k) + k <= n が 書いてあった。 すげーかしこいとおもいました。

そこまで思いつかなかったとしても, i^2 が入ってるから $1 \le i, j, k \le 10$ で十分です.